

Topics 自然科学部・理数科2年生 環境フェア2025で発表しました

10月18日(土) ぎふ清流里山公園で開催されました「e-kamonn まるごと環境フェア2025」に参加し、さまざまな環境に関する団体や企業などの活動に関する展示とともに、加茂高校、加茂農林高校、八百津高校が生物の多様性についてのポスター発表およびプレゼンテーション発表をしました。

加茂高校の発表は「美しい花だけど外来種！」をテーマに、自然科学部による「オオキンケイギクの市内における分布と草木染」、理数科2年生生物班による「タカサゴユリを知っていますか？」を発表紹介しました。



自然科学部「オオキンケイギクによる草木染」



理数科2年生「タカサゴユリを知っていますか？」

オオキンケイギクは5～6月頃に、道路脇や川沿いなどでコスモスに似ている黄色い花を咲かせます。この花は特定外来生物に指定され、駆除が必要ですが、繁殖力が強い上に、きれいな花であるため駆除されずに残されがちです。駆除するだけでなく環境教育の素材として利用できないかと草木染の方法を工夫したことを発表しました。

タカサゴユリの発表は、理数科2年生が課題研究として取り組み始めたものです。タカサゴユリは8月頃、白い花が道路沿いなどで見られます。本来は台湾から栽培種として入ったものや、日本のテップウユリと交雑させて新品種となったものが広がっています。クイズを交えながらタカサゴユリの紹介をしました。今年度は分布調査を行い、美濃加茂市内にも各所に分布していることがわかりました。これからは繁殖力が高い理由について調べていく予定です。



口頭発表の他に、ポスターでも外来植物について紹介しました。

オオキンケイギクの花の色素で染めた布に関心をもって、染色方法を質問される方もおみえでした。